



# 川崎のまちづくりと市債

～ 市民の参画によるまちづくりを目指して～



# 川崎市

平成24年8月29日

第9回川崎市債投資セミナー  
説明資料



# はじめに～ 市政運営を進める3つの柱

「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」をめざして

1

## 川崎再生フロンティアプランの推進

(平成17年3月に「川崎市新総合計画・川崎再生フロンティアプラン」を策定・推進)

計画事業の一層の推進と環境変化への的確な対応

2

## 自治基本条例に基づく市民本位のまちづくり

(平成17年4月に「自治基本条例」を施行)

市民本位のまちづくりに向けた取組を一層推進

3

## 行財政改革の推進

(平成14年度から「行財政改革プラン」を策定・推進)

持続可能な都市経営基盤の確立と質の高い市民サービスの提供



# 中長期的なまちづくりの方向性

高齢化、人口減少が進展する中でも誰もが暮らしやすい生活環境を確保するため、中長期的なまちづくりの方向性を示す4つの「～化」(バケ)を踏まえた取組を推進

## コンパクト化



主要駅を中心に効率的に施設を集約するコンパクトなまちづくり

- ・武蔵小杉駅周辺の市街地再開発
- ・鉄道事業者と連携した保育所の整備 など

## 長寿命化



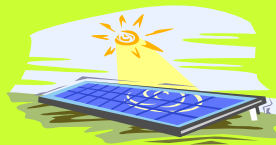
公共施設の定期的・計画的な予防保全型の維持補修を行い長寿命化を推進

- ・適切な道路維持補修事業の推進
- ・大規模施設の予防的維持補修の実施 など

4つの「～化」

## エコ化

まち全体を環境技術にあふれたショーケースとする取組を推進



- ・住宅用再生可能エネルギー設備設置補助
- ・太陽光発電・電気自動車の導入 など

## ユニバーサル化



高齢者や障害者をはじめ、「誰もが使いやすい」という視点でまちづくりを推進

- ・福祉製品におけるかわさき基準(KIS)の推進
- ・ノンステップバスの導入 など



## 本日の御説明内容

1 躍動する川崎市について

2 川崎市の財政状況について

3 川崎市債について

# 1 躍動する川崎市について

元気都市かわさき

川崎市に立地する世界的企業と研究開発機関

環境技術で国際貢献

「キング スカイフロント」における国際戦略拠点の形成

新川崎・創造のもりにおける先端研究開発拠点の形成

かわさき基準(KIS)に基づく福祉産業の振興

都市拠点・ネットワークの整備

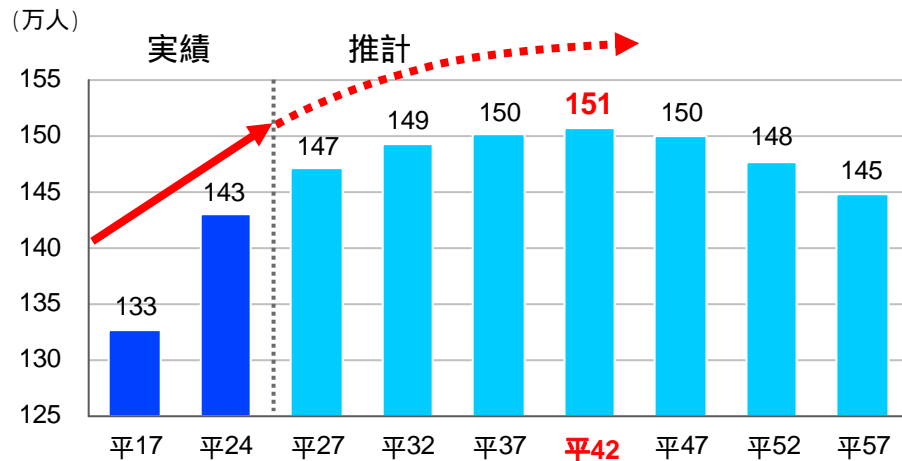
「芸術・文化」の発信都市 かわさき



# 元気都市かわさき (1)

## 若い世代の人口増加が顕著でエネルギーあふれる都市

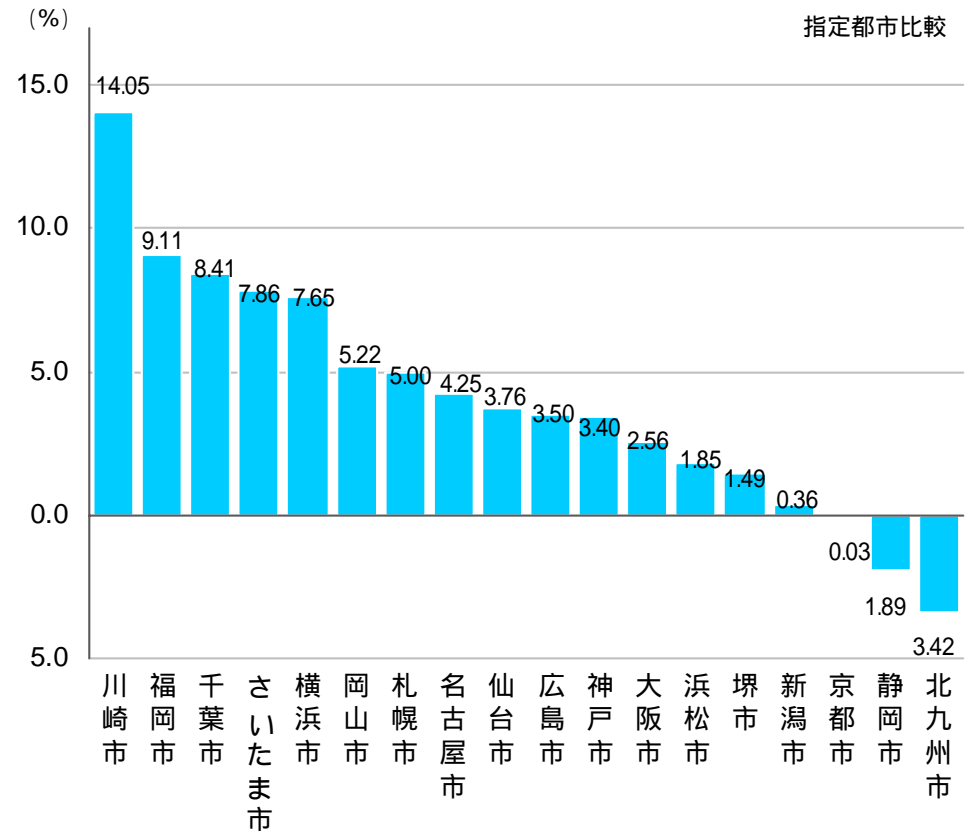
### 人口の増加状況と将来推計



出典: 川崎市将来推計人口調査

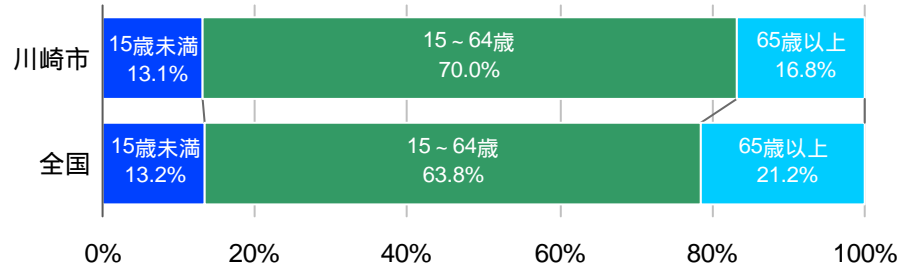
### 10年間の人口増加率は他都市を大きく上回る

出生率1位(21年連続)、婚姻率1位(26年連続)



平成12年、22年国勢調査に基づき川崎市が算定  
は大都市比較統計年表(平成22年度)

### 年齢構成からみる人口



出典: 川崎市年齢別人口 - 平成22年10月1日 -

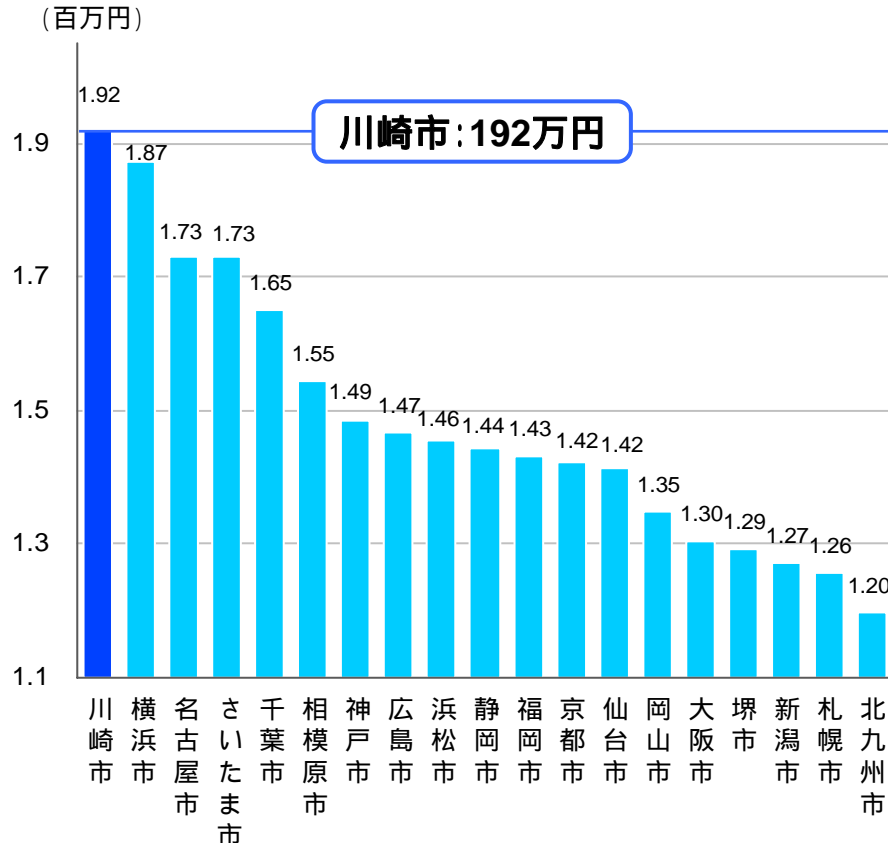


# 元気都市かわさき（2）

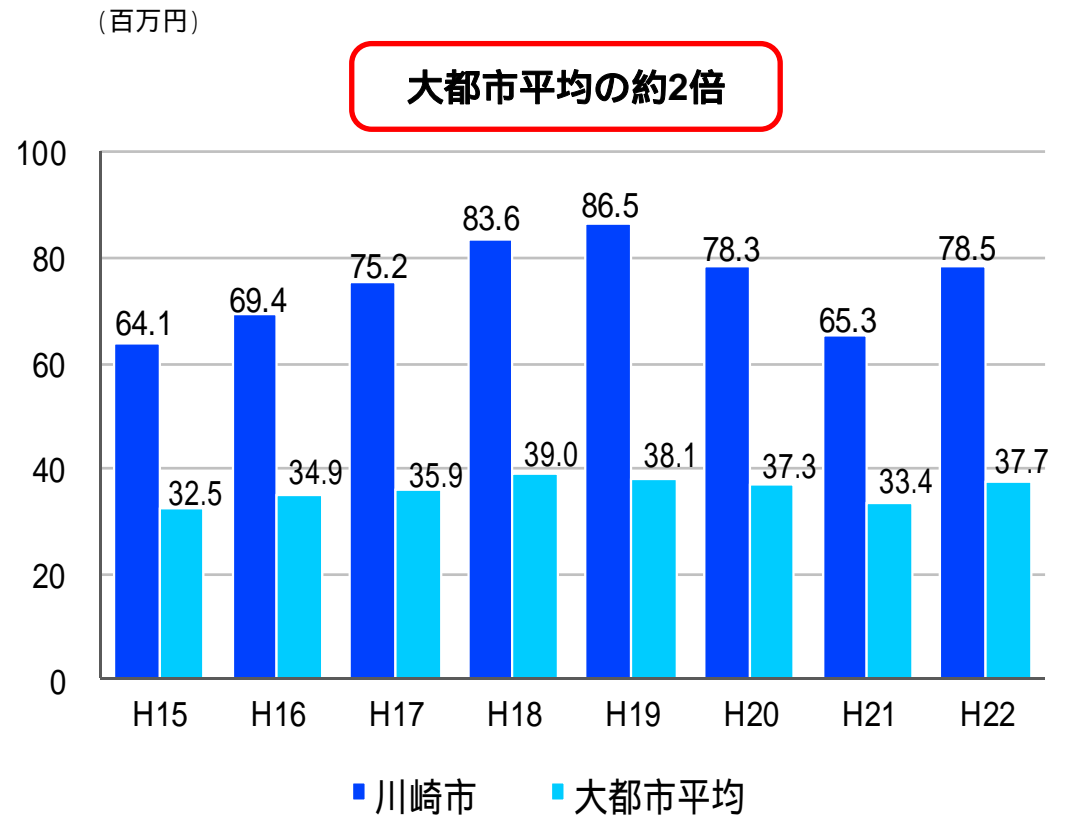
良好な財政状況を継続しており、人口1人あたり課税対象所得額は指定都市トップ

人口1人あたり課税対象所得額

従業員1人あたり製造品出荷額等



2011年度市町村税課税状況等の調、決算カードに基づき川崎市が算定

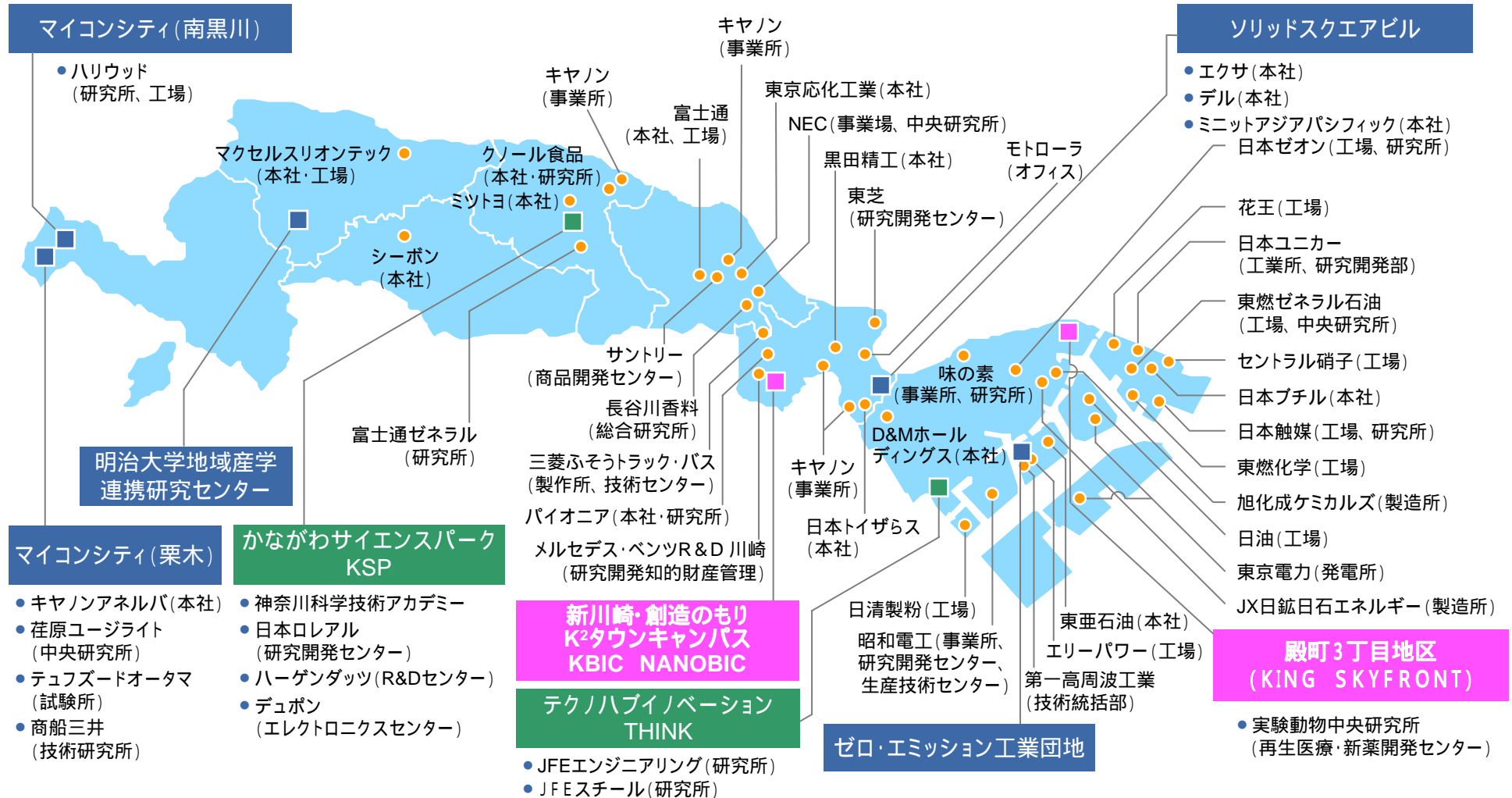


出典: 大都市比較統計年表



# 川崎市に立地する世界的企業と研究開発機関

200以上の研究開発機関が立地し、研究者・技術者が集結







# 環境技術で国際貢献(1)



## 「環境」と「経済」の好循環を推進、持続可能な社会を地球規模で実現

### カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)

#### 川崎の特徴・強みを活かした環境対策の推進

- 低CO<sub>2</sub>川崎ブランドの実施
- スマートシティ戦略の推進
- 川崎メカニズムの構築
- 市内中小企業の地球温暖化対策への支援

#### 環境技術による国際貢献の推進

- 国連環境計画(UNEP)連携協調事業
- 川崎国際環境技術展の開催、ビジネスマッチングのフォローアップ
- 環境総合研究所の開設(H25.1月開所)

#### 多様な主体の協働によるCO<sub>2</sub>削減の取組の推進

- 住宅用再生可能エネルギー設備設置補助
- 電気自動車の普及促進
- 市役所の率先取組の推進(グリーン電力の購入など)

#### 地球温暖化対策推進条例、地球温暖化対策推進基本計画

2020年度までに1990年度における市域の温室効果ガス排出量の25%以上に相当する量の削減を目指す



川崎国際環境技術展2012(H24.2.10・11開催)  
136団体226ブース13,500人来場



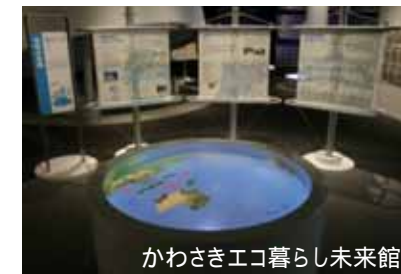
扇島太陽光発電所

浮島太陽光発電所  
かわさきエコ暮らし未来館



メガソーラー(浮島)

太陽光発電所(浮島・扇島合計)の出力  
...約20,000kW  
一般家庭約5,900世帯分の年間電力量に相当



かわさきエコ暮らし未来館

#### ごみ減量化と分別・リサイクルの推進

- ミックスペーパー及びプラスチック製容器包装の資源処理の実施

#### 廃棄物処理・リサイクル施設の整備

- 仮称リサイクルパークあさおの整備

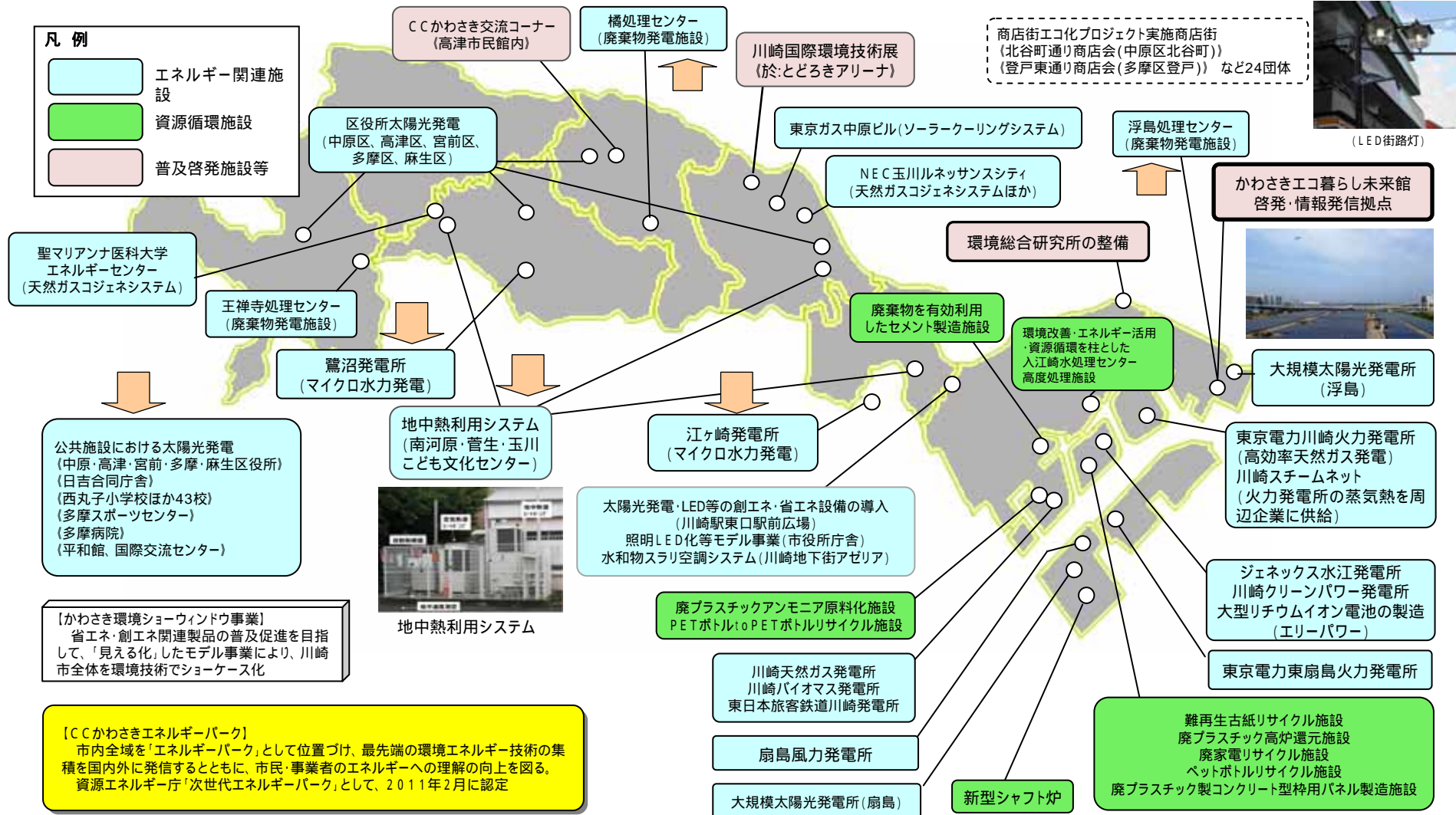


完成イメージ  
(平成23年度 ごみ焼却処理施設完成)



# 環境技術で国際貢献(2)

## 川崎のまち全体で環境技術のショーケース化を推進





# 「キング スカイフロント」における国際戦略拠点の形成

羽田空港の対岸に位置する「キング スカイフロント」(約40ha)にて、再生医療、がん・生活習慣病、公衆衛生・予防医学など、今後成長が期待される分野において、革新的医薬品・医療機器の開発・製造と健康関連産業の創出をめざす

## < 第1段階中核施設整備 >

平成23(2011)年7月12日  
「実中研 再生医療・新薬開発センター」運営開始



## < 第2段階中核施設整備 >

(仮称)産学公民連携研究センター  
平成24(2012)年度運営開始予定  
・健康安全研究所  
・環境総合研究所  
・レンタルラボ



平成24(2012)年2月24日  
国立医薬品食品衛生研究所の移転を発表

健康安全研究所との連携による食品や飲料水の安全確保や市民の生活環境の維持・向上への貢献に期待

平成23(2011)年12月22日  
京浜臨海部ライフイノベーション  
国際戦略総合特区に指定  
(川崎市、神奈川県、横浜市の共同申請)



総合特別区域指定書授与式  
(左から林横浜市長、黒岩神奈川県知事、野田内閣総理大臣、阿部川崎市長)



国際戦略拠点形成推進会議  
(左から阿部川崎市長、小宮山座長、寺島副座長)

## アジア最大級の国際バイオテクノロジー展 「BIOtech 2012」へ初出展

平成24年4月25日～27日に東京ビッグサイトで開催された「BIOtech 2012」において「キングスカイフロント」での取組を紹介



5年後 経済効果 約2,955億円  
20年後 経済効果 約14兆円  
新たな雇用創出 約23万人  
を見込む



# 新川崎・創造のもりにおける先端研究開発拠点の形成

## ～ ナノ・マイクロ産学官共同研究施設の整備 ～

第1期事業 (約1.6ha)

「K<sup>2</sup>タウンキャンパス」

平成12年7月開設  
慶應義塾大学の先導的研究施設



【代表例】

「世界最速プラスチック光ファイバーと高精細・大画面ディスプレイを用いたFace-to-Faceコミュニケーションプロジェクト」が内閣府の「世界のトップを目指す30の最先端研究課題及びそれを実施する中心研究者」に採択

第2期事業 (約0.7ha)

「かわさき新産業創造センター (KBIC)」

平成15年1月開設

起業家精神を持った個人や新事業開発を目指す中小・中堅企業等に対し、創業支援や成長支援などを通じて地域経済の活性化を図るベンチャービジネス創出拠点

【代表例】

世界最速級の電気自動車  
「エリーカ」の技術をベースとした  
慶應義塾大学発ベンチャー企業  
(株) SIM-Drive



第3期事業第1段階 (約0.88ha)  
ナノ・マイクロ産学官共同研究施設  
「NANOBIIC」

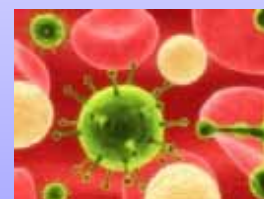
平成24年4月開設 (一部は同年9月)

ナノ・マイクロ領域の「加工～試作～計測～評価」の一連の作業が可能な大型クリーンルームを完備



ナノ・マイクロ技術を核とした  
ライフサイエンス・環境分野の  
研究開発、産業化

<ライフサイエンス分野>  
がん細胞を狙って投薬



<環境・エネルギー分野>  
太陽電池のエネルギー効率を2倍に





# かわさき基準 (KIS) に基づく福祉産業の振興

## ～ 川崎市におけるウェルフェアイノベーションの取組～



『かわさき基準 (KIS) (Kawasaki Innovation Standard)』とは

住み慣れたまちで、誰もが自立して楽しく安心して暮らせることを目指した川崎市独自の福祉製品のあり方を示した基準

### 背景と必要性

中国をはじめとしたアジアの高齢化

産業面からの生活支援の必要性

成長市場と見込まれる産業の振興

高度なものづくり技術の活用

ニーズを製品開発につなぐ  
新たな基準を定め、その基準  
に基づく福祉製品の認証

かわさき基準推進協議会  
による評価・認証

### かわさき基準がもたらす効果

中国をはじめとしたアジアで拡大する福祉機器市場において高度なものづくり技術を活かし主導的に事業展開

川崎を福祉機器産業の中心拠点として競争力ある製品創出を促進

### 「かわさき基準」における8つの理念

中心概念:「自立支援」 日常生活において、自分の力で不自由なく、安心して、快適にできることを増やしていく。  
人格・尊厳の尊重 利用者意見の反映 自己決定 ニーズの総合的把握  
活動能力の活性化 利用しやすさ 安全・安心 ノーマライゼーション

#### これまでの実績

#### 平成20年度より認証開始

平成20年度 電動車いす「吉田いす」、音声拡聴器「クリアボイス」他、11製品を認証

平成21年度 階段避難車「キャリダン」他、17製品を認証

平成22年度 移乗用ボード「らくらくボード」他、24製品を認証

平成23年度 福祉バイオトイレカー他、9製品を認証



クリアボイス



キャリダン



福祉バイオトイレカー



# 都市拠点・ネットワークの整備

## 魅力ある都市拠点の整備 利便性の高いコンパクトなまちづくり

### 登戸・向ヶ丘遊園駅 周辺地区整備

- 登戸土地区画整理事業
- 向ヶ丘遊園駅連絡通路の整備

登戸・  
向ヶ丘遊園駅周辺

### 溝口駅周辺地区整備

- 溝口駅南口広場の整備

溝口駅周辺

武蔵小杉駅  
周辺

### 武蔵小杉駅周辺地区整備

- コンベンション施設の整備に向けた取組
- 都市機能の集積を図り、利便性の高いコンパクトなまちづくりを進める



JR横須賀線武蔵小杉駅  
(H22.3.13開業)

新川崎・  
鹿島田駅周辺

川崎駅周辺

### 川崎駅周辺地区整備

回遊性・利便性の高い  
魅力ある都市空間形成へ

- 北口自由通路と新たな改札口の整備に着手
- 西口ペDESTリアンデッキの整備に向けた取組



川崎駅東口駅前広場再編整備H23.3.26完成

太陽光発電や照明LED化等を導入  
エコ化を市内外へ積極的に情報発信

### 新川崎・鹿島田駅周辺地区整備

- 鹿島田駅西地区再開発事業
- 鹿島田跨線歩道橋、交通広場等整備事業

## 基幹的な交通網の整備

### 連続立体交差事業

- 京浜急行大師線連続立体交差事業について、産業道路の立体交差化完成に向け、整備を推進
- 横浜市とも連携しながら、JR南武線連続立体交差事業などの実施に向けた調査・検討

### 川崎縦貫道路

- 期区間の大師ジャンクションから国道15号までの整備を推進
- 期計画の早期の具体化に向けた取組を推進

### 川崎縦貫鉄道

「新技術による川崎縦貫鉄道整備推進検討委員会」の提言(平成24年5月)

環境面や災害時の対応における有効性を確認

燃料電池等の新技術の導入には一定の時間を要する。

提言を踏まえ、「川崎市総合都市交通計画」の中で、位置づけを検討



# 「芸術・文化」の発信都市 かわさき

## 音楽のまち・かわさき



ミュザ川崎シンフォニーホール



ウィーンフィルハーモニー管弦楽団  
(2009年9月・2010年11月公演)

全国の音楽学部在校生の約2割が市内音楽大学の在校生  
(平成22年度学校基本調査より)



昭和音楽大学



洗足学園音楽大学



世界3大ジャズフェスティバルの1つであるモンルー・ジャズ・フェスティバルが  
2011年11月に川崎で開催(2012年11月にも川崎で開催予定)



## 映像のまち・かわさき



日本映画大学



ロケ地の撮影風景

平成23(2011)年4月、新百合ヶ丘に開学。前身の日本映画学校は、映画「悪人」の李相日監督、「十三人の刺客」の三池崇史監督など、卒業生多数

ロケ地として、映画「あしたのジョー」、TVドラマ「ドンキホーテ」などの多くの作品に川崎が登場

## 藤子・F・不二雄ミュージアム、かわさき宙と緑の科学館



川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム  
(2011年9月3日開館)



2011小学館DIMEトレンド大賞のレジャー・エンターテインメント部門を受賞



かわさき宙と緑の科学館(2012年4月28日開館)



### メガスター フュージョン

川崎市出身の世界的なプラネタリウムクリエイター大平貴之氏が製作。数百万個もの星が様々な色に輝き、宇宙空間を自由自在に飛び回るような体験ができるプラネタリウム

## 2 川崎市の財政状況について

市民一人あたりの予算の使いみち

市の予算を家計簿に例えると

行財政改革の取組

行財政改革効果の市民サービスへの還元

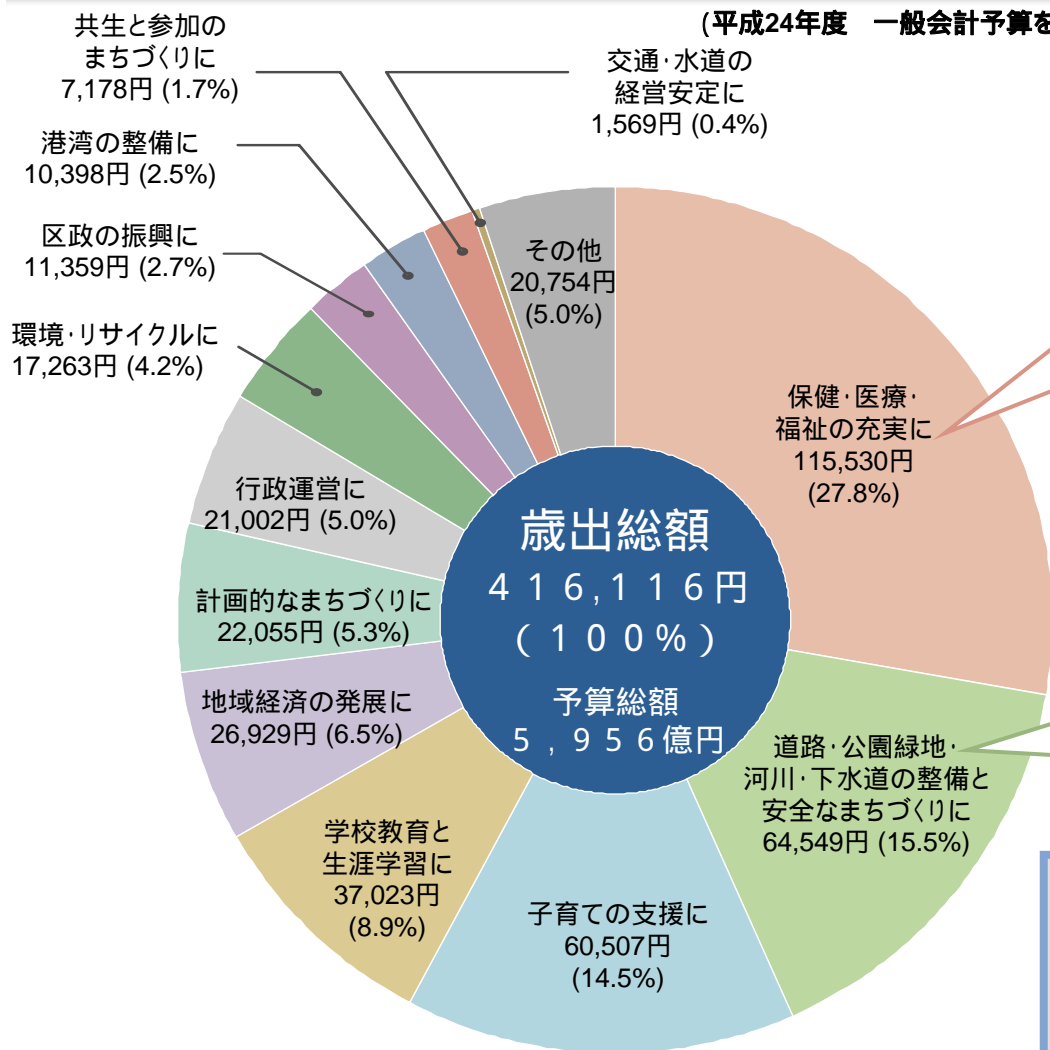




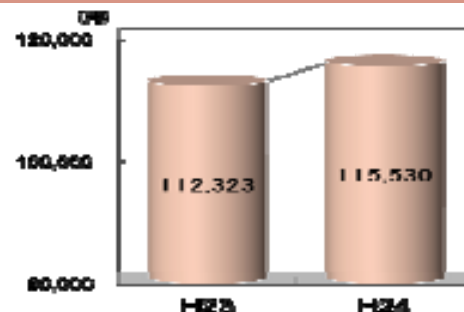
# 市民一人あたりの予算の使いみち

## 日常生活を安心して送るために必要な施策を着実に実施

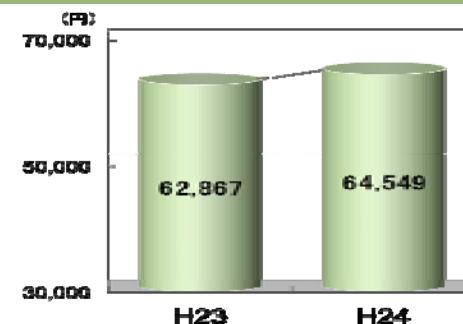
(平成24年度 一般会計予算をもとに算定)



### 保健・医療・福祉の充実



### 道路などの整備と安全なまちづくり



生活保護費や予防接種事業費、子育て、教育、公共施設の整備や防災・災害対策などの施策に使われている。

平成24年1月1日現在の推計人口(1,431,409人)による。



# 市の予算を家計簿に例えると

年収500万円(月収41万6,700円)とすると・・・

収入		支出	
平成24年度予算 (一般会計)	1ヶ月の家計に例えると	平成24年度予算 (一般会計)	1ヶ月の家計に例えると
市税などの 自主財源 3,771億円	お父さんの収入と お母さんのパート収入 416,700円	義務的経費 人件費 970億円 扶助費 1,408億円 公債費 714億円	食費 107,200円 医療費 155,600円 ローン返済など 78,900円
国・県支出金など 1,471億円	祖父母からの援助など 162,500円	投資的経費・維持補修費 987億円	自宅の増改築・修繕費 109,000円
市債発行 714億円	各種ローンの借入金 78,900円	繰出金・補助金等・出資金・ 貸付金など 1,251億円	下宿してる子供への 仕送りなど 138,200円
収入計 5,956億円	収入計 658,100円	物件費 626億円	光熱費・被服費など 69,200円
		支出計 5,956億円	支出計 658,100円
市債残高 1兆261億円	ローン残高 1,361万円	基金残高 2,041億円	預貯金残高 271万円



# 行財政改革の取組

「川崎市新たな行財政改革プラン ～第4次改革プラン～」(平成23～25年度)を策定

これまでの取組(平成14～23年度)  
23年度までで2,733人の職員削減、752億円の改革効果

新たな行財政改革プラン ～第4次改革プラン～  
(平成23～25年度)  
3年間で約600人の職員削減(減員1,000人、増員400人)

将来を見据えた都市基盤  
施設の整備と活用

効率的・効果的な  
行政体制の整備

組織力の強化に  
向けた取組

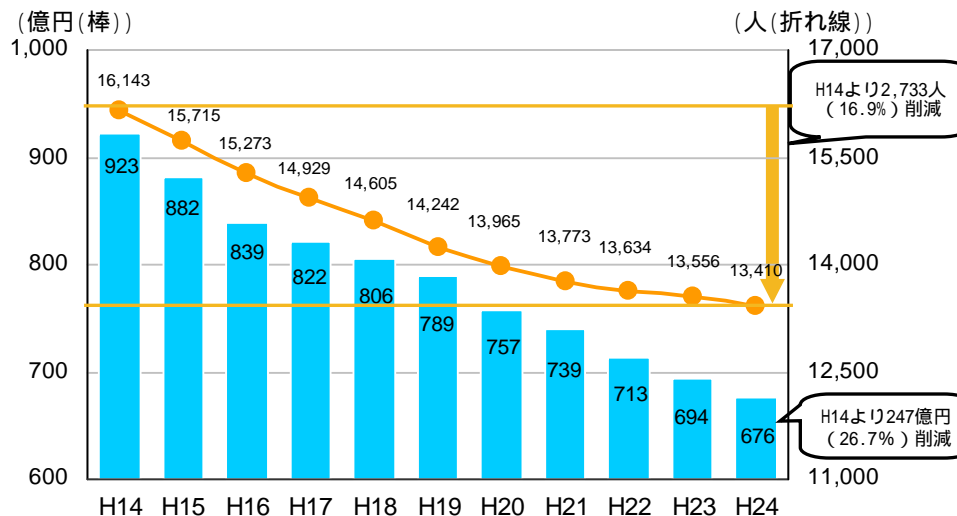
6つの取組

地方分権改革等に  
向けた取組

市民サービスの  
再構築

市民や事業者等の  
力が発揮できる  
活力ある地域社会づくり

## 職員数と職員給の推移



H14より2,733人  
(16.9%)削減

H14より247億円  
(26.7%)削減

### 市民サービスの再構築

多様化する市民  
ニーズへの対応

### 安全・安心



救急医療体制の強化

### 福祉



待機児童対策として  
保育所91園を新たに開設

### 環境



太陽光発電設備・太陽熱利用設備  
設置費補助を実施



# 行財政改革効果の市民サービスへの還元

行財政改革の効果は平成18年度から還元施策を実施し市民サービスの拡充に活用

改革の  
効果

新たな  
財源

充実した  
市民サービス  
を提供

- こども関連施策の充実(小児医療費助成拡充、私立幼稚園園児保育料等補助の拡充、小中学校冷房化等)
- 公共施設トイレの快適化(区役所・学校)
- 維持補修等の充実(公園・道路・街路樹)
- こども文化センター床改修 など

平成24年度から、小児医療費助成制度のさらなる拡充として、通院に係る小児医療費の助成対象年齢を引き上げます。

還元施策の継続した実施

小児医療費助成、私立幼稚園園児保育料等補助など

今後も

水道料金の負担軽減等  
(企業会計)

事業規模の適正化や組織機構の見直し等による  
効率的な経営の推進  
水道施設の耐震化、料金負担の軽減

## 3 川崎市債について

市債の役割

川崎市債の購入を通じて市政に参画

市場公募債発行計画

市場公募債(5年債)の発行案内

川崎市ホームページ

IRポリシー

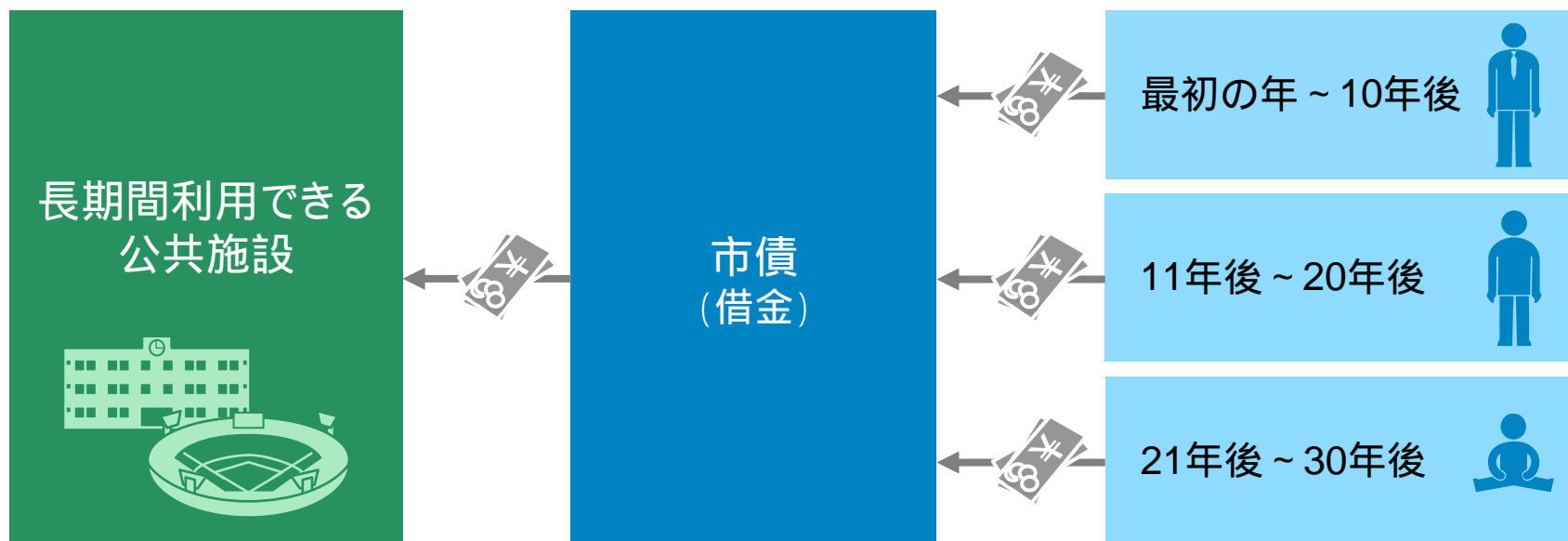
川崎市債についてのQ & A



# 市債の役割

## 市債の役割とは？

- 公園、道路、学校、文化施設など、長期間利用できる公共施設を整備するために資金が必要となります。
- その施設を利用する市民の間で、世代間で平等に整備費用を負担するために、「市債」という借金をします。



みんなで使うものは、みんなで負担しよう、という考えです。



# 川崎市債の購入を通じて市政に参画



川崎市債  
の購入

公園、道路、学校、  
文化施設などの  
公共施設の整備

川崎市債

市民の皆様



誰もがいきいきと心豊かに  
暮らせる持続可能な  
市民都市かわさき

まちづくり



みんなが住みやすいまちへ









# 市場公募債(5年債)の発行案内

発行月の前月下旬ごろ	発行概要を決定 市政だよりに掲載、ホームページ公開、IRニュース配信、パンフレット配布
発行月の10日ごろ	利率などの発行条件を決定 報道発表資料配布、ホームページ公開、IRニュース配信 翌営業日より窓口販売開始
発行月の25日ごろ	募集期間終了(募集期間最終日の前であっても、売り切れとなる場合があります。)
発行月の月末	払込・発行日

## ご参考～最近の川崎市債の利率と価格

条件決定日	5年公募債			10年公募債	
	H23.12.7	H24.5.10	H24.7.10	H22.11.10	H24.1.13
表面利率	0.40%	0.27%	0.22%	1.05%	0.97%
発行価格	99円97銭	99円96銭	99円99銭	99円95銭	99円93銭
応募者利回り	0.406%	0.278%	0.222%	1.055%	0.977%

## 第33回5年公募債のパンフレット



川崎市債は、市が公園、道路、学校、文化施設など身近な公共施設の整備のために必要となる資金の一部を借り入れるために発行する債券です。市債の購入を通じて提供していただく資金は「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる市民都市かわさき」をつくるために投じてられています。

窓口での販売期間	平成24年10月11日(木)～10月25日(木) 募集期間中であっても、売り切れとなる場合がありますので、お申し込みはお早目をお願いします。
発行総額	70億円
償還日	平成29年9月20日(水)
償還年限	5年(満期一括償還)
利率・利回り・発行価格	平成24年10月10日(水)の午後に決定の予定(利率は固定利率) 川崎市のホームページで随時お知らせいたします。
払込日	毎年3月、9月の各20日(年2回)
発行日	平成24年10月31日(水)
購入単位	額面1万円から額面1万円単位 本債券の御購入にあたっては、購入対価のみのお支払となります。
購入対象者	特に制限はなく、個人・法人を含め広く一般投資家に販売します。

### 御購入にあたっての御注意

- 本債券は、満期日前でも売却して換金することができますが、債券の価格は、市場金利の実勢により上下しますので、償還時に売却する場合には、お受取金額が投資元本を割り込むことがあります。
- 発行者の信用状況の悪化及び発行者に対する外部評価の変化等により損失を被ることがあります。
- 本債券は、預金ではありません。また、預金保険の対象ではなく、証券会社以外の金融機関の場合は投資者保護基金の対象ではありません。
- 利息時期には、寛政・申込資金でない期間があります。
- お申し込みの際は、取扱金融機関から契約締結書交付書面等をお渡ししますので、よくお読みいただき、必ず内容を御確認の上お申し込みください。また、お申し込みは必ず御本人が取扱金融機関で申請してください。
- 平成25年1月以降に受け取る利息には、源泉特別徴収が付されます。

### 今後の公募債発行予定

- 平成24年度5年債は、1月の発行を予定しています。

裏面にも注意事項が記載されていますので、必ず御覧下さい。